



KAGAWA
ROSAI
HOSPITAL

いぶき

いぶき 第71号
 発行者 吉野 公博
 編集 患者サービス向上委員会
 香川県丸亀市城東町3丁目3番1号
 TEL (0877)23-3111
 FAX (0877)24-1147
 季刊誌 年4回発行
<http://www.kagawah.johas.go.jp>

新年のご挨拶

香川労災病院 病院長 吉野 公博



皆様、明けましておめでとうございませう。

平成31年が明け、平成の元号最後の年になりました。年号が変わるといのは、ある意味、時代が変わると言うことかと考えます。思うに、昨今の医療情勢は、昨年の診療報酬改定、地域での医師会、歯科医師会、薬剤師会、行政など多くの方々が協力していく地域包括ケアシステムの推進、また、西讃では西部医療構想の検討などまさに時代が大きく変わる節目の時期のまっただ中にあると考えられます。当院は、地域の中核病院として地域の

方々に貢献するにはどのように対処すべきなのか十分勘案して、対応して参りたいと考えております。我々の病院は、地域の急性期病院としての働き、また、がん診療連携拠点病院の活動が大きな2つの軸であります。これらを更に高めて行くことが、我々の使命と考えています。そのために、病院は変化に対応して変わって行かねばなりません。変われなければ、その存在意義が問われる時代です。

病院の職員、一丸となってよりよい方向へ変わって行きたいと思っておりますので、御指導、御鞭撻ならびに御協力を何卒よろしくお願い申し上げます。さて、昨年からの

当院での取り組みをいくつかあげたいと思います。一つは患者サポートセンター（地域医療連携室）の更なる充実をはかるため部屋のリフォームや看板の掛け替え、また、組織の改編を行いました。リフォームには香川短大の学生や先生方、またボランティアの方々、コラボをお願いし、当院の職員といっしょに考えていただき、非常にいいものが出来たと思います。感謝申



香川労災病院の理念

働く人々や地域の人々に
安全で安心のより良い
医療と看護を提供します

申し上げます。地域連携室・患者サポートセンターは、医師会の先生方との連携やPFM（患者入院前支援）などを積極的に行ない、地域在住の方々の治療や健康の維持に取り組んで参ります。

二つ目は、急性期病院としての機能についてです。平成30年9月より、ICUがスーパーICUとなりました。これは、県下では大松日赤病院について4番目の取得となり、西讃地域では初めてです。この基準は、医師、看護師、臨床工学技士などの配置が必要で今回それが出来るようにな

り、指定を受けることが出来ました。ICUにおいて、更なる高度な疾患対応ができるものと考えております。

三つ目は、健診センターの充実です。高齢者の方が今後ますます増えてくると考えられます。そのため、がんなどの悪性疾患の早期発見がその後の治療を考えますと重要となってきました。毎年、健診を受けていただき、病気を早期発見するよう努めて参りたいと思います。健診センターも内部をリフォームいたしました。待合室もかなり明るくなったので、少しでも健診を受けられる方々が快適に過ごせるようになったのではないかと思います。そして、健診の後、何か精査が必要となった方は、当院で引き続きさらなる検査を行えるように、システムを確立して参りました。それが、またがん診療連携拠点病院としての責務とも考えております。

四つ目は、仕事と治療が両立できるように両立支援にも引き続き力を入れていきたいと思っております。もし、ご相談がございましたらがん相談窓口にお越しただき、相談してください。本年度から、係が毎日、常駐しておりますのでいつも相談を受け付けることができますようになっております。

今年も、昨年と同じようにオープンホスピタル、市民公開セミナーを行って参りたいと考えています。これまで、労災病院はこのような外に向かつての広報が十分できていませんでしたが、すこしずつ広報を進めて行くことで、労災病院をよく知っていただきたいと思えます。昨年のオープンホスピタル、市民公開セミナーの際のアンケートでは、かなり高い評価をいただいておりますので、今後もしっかりしていきたいと思えます。ぜひ、ご参加ください。よろしくお願ひします。

最後になりますが、地域の方々がよりよい生活を送るために、香川労災病院は一丸となって地域医療に貢

形成外科の守備範囲
キズの管理からQOL改善手術まで

形成外科・形成再建外科部長 小野田 聡



献して参ります。御協力のもと、ほど宜しくお願ひ申し上げます。

「形成外科とは、身体に生じた組織の異常や変形・欠損、あるいは整容的な不満足に対して、あらゆる手法や特殊な技術を駆使し、機能のみならず形態的にもより正常により美しくすることによって、みなさまの生活の質"Quality of Life"の向上に貢献する外科系の専門領域です。」と書かれ

科が登場してから既に半世紀以上を過ぎているにもかかわらず、一般の皆様の中には、「形成外科って何を診てくれる診療科なの?」と聞かれる方もおられます。我々形成外科医が所属する日本形成外科学会のホームページには、

ています。具体的には、形成外科診療の4つの柱とされているのが、①熱傷・外傷に対する治療 ②小児先天異常 ③腫瘍関連疾患 ④美容外科です。

それぞれを説明すると、まずは皆さんに比較的なじみの深い熱傷、いわゆるやけどの専門医です。やけどの範囲や深さによりですが、全身に及ぶような重症のやけどに関しては、やけどを負った皮膚自体の問題の他に全身的な管理、呼吸の管理など様々な問題が生じます。この内、主にやけど自体の手術治療を担当するのが形成外科です。この他に外傷、いわゆるケガに対しては切り傷や擦り傷の後をなるべく目立たなくなるように治療することや、褥瘡などの治りにくい傷の治療計画を考えるなど、キズの専門家である一面も持ち合わせています。

次に小児先天異常です。生まれてくる子供の中には生まれつき何らかの異常を

持っている子供さんはたくさんおられます。この内、生まれつきの心臓の病気や手足の病気などは、適切な時期に手術が必要となる場合があります。このような病気の内、顔や手足の異常については形成外科が担当します。このような場合は、整容性（見た目）の問題とともに成長発達に伴う機能性も考慮する必要があります。

次に、腫瘍に移ります。最初に形成外科は特定の対象臓器を持たないとの話を行いましたが、しいて言えば形成外科の対象臓器は顔面です。顔面は整容性において全身で最も重要な役割を果たすとともに、視覚・聴覚・嗅覚などの五感や発語、摂食などの生命維持に必須の機能が集中する重要な部位と言えます。その為、顔面の腫瘍や外傷、癌切除に伴う欠損等においては、これらの特性を考慮したうえで形成外科医が手術を担当します。

最後に美容外科についてです。通常、病院に來られる患者さんは症状の大小はあるものの、何らかの疾患や不具合を持っておられます。一方、美容外科に來られる患者さんは、疾患ではないが自分の見た目や状態に不満があり、それを治療してほしいとの希望を持たれていきます。美容外科は、通常の病院で行っている保険医療と異なり、患者さん自身が治療費の全額を負担する自由診療であり、残念ながら現在労災病院では診療を行っていません。

以上簡単に形成外科の守備範囲についてお話をしましたが、形成外科はマイクロナサージャリや皮弁移植など様々な治療手段を持っており、各種再建手術など、現在進行形で治療適応を広げている診療科です。これらの内容については、市民公開健康講座の中で実際の写真を供覧しながらお話をさせて頂きました。最後になりましたが、形成外科で

治療を受けた方々が、笑顔で再び社会生活に復帰してゆく姿を見ることが、形成外科医が最もやりがいを感じる瞬間です。

（平成30年12月10日
市民公開健康講座より）

スーパーICUについて

副院長 北浦 道夫



今年の9月から当院の集中治療室（ICU）が新しく生まれ変わりました。といてもなんのことやら分からない方も多いと思います。そもそも集中治療室（ICU）とは何か、また実際にどんなことをしているのかあまりよく分からないというのが現実だと思えます。

日本集中治療医学会によりますとICUは以下の様に定義されています。

集中治療とは、生命の危機のある重症患者さんを24時間の濃密な観察の元に、先進医療技術を駆使して集中的に治療する者であり、集中治療室（ICU）とは、【集中治療のために濃密な診療体制とモニタリング用機器、ならびに生命維持装置などの高度の診療器具を整備した診療単位】

実際、当院でも年間約900名（昨年度実績）の循環不全、呼吸不全、意識障害、腎障害などの臓器不全により生死の境をさまよう患者さんが入室しています。

当院にICUができたのは1982年6床で開設されました。その後重症患者

でICUが満床になり救急患者がとれないという事態が続くようになりました。2013年より救急専用の病棟（救急棟）が作られ、その際ICU8床、HCU（ICUと一般病棟の中間に位置する病棟）8床に増床されました。その後の保険点数の改定により、新しくより高度な治療要件を満たしたいいわゆるスーパーICUという区分が設定されました。ICU各病床の面積や臨床工学技士の24時間の当直体制などの要件を満たしていなければなりません。スーパーICUは全国にもまだ百数十カ所しかなく、四国でも数カ所しかありません。

看護師や臨床工学技士やリハビリテーションのスタッフなどの多くの皆様の協力を得てスーパーICUになることができました。地域の皆様の医療により多く貢献できることを信じております。

んの生活背景を把握すること
とで、適切な診療や保健指
導を行っています。

より身近な存在であるこ
とから、患者さんのちよつ
とした体調の変化に気付
く専門家とも言ふことが
でき、病気の早期発見、重症
化予防をする上で「かかり
つけ医」を持つことは健や
かな日常を送るための大切
なポイントであると思いま
す。

当院は、地域医療支援病
院として、丸亀市医師会を
はじめ、「かかりつけ医」が
所属する近隣の医師会との
連携強化に努めています。
具体的には、「かかりつけ
医」からの紹介を受けて高
度専門的な医療（手術や精
密検査など）を行い、患者
さんの病状が安定した後
は、逆に「かかりつけ医」
に紹介するなど、患者さん
が住み慣れた地域で適切な
医療が受けられるよう、当
院に求められる役割を引き
続き果たしていきたいと考
えています。

一方で、国の制度では、
紹介なしで大病院を受診す
る場合、患者さんは医療費
とは別に定額負担をするこ
ととなっています。

当院でも以前から初診時
に紹介状がない場合に実費
負担をいただいていた
が、4月発行の「いぶき」
でご紹介しましたとおり、
今年度から当院は紹介状
がない場合の定額徴収義
務の対象となり、初診時だ
けでなく、再診時（病状が
安定し、当院から「かかり
つけ医」に紹介した後に、
紹介状なしで当院を受診し
た場合）にも実費負担（初
診時5,400円、再診時
2,700円）をいただく
こととなりましたので、よ
ろしく願います。

これは、地域の拠点とな
る病院、いわゆる「大病院」
とかがりつけ医機能を持つ
「診療所等」の連携強化を
推進することが目的の制度
であり、みなさまにぜひご
理解いただければと考えて
います。当院としましては、

「かかりつけ医」の先生方
との連携強化、地域医療へ
の貢献に向けた取組を更に
お願いたします。

進めていくこととしていま
すので、今後ともよろしく
お願いいたします。



ホスピタリティ強化プロジェクトの 取り組み ホスピタリティ強化ワーキンググループ長 小林 正彦

ピーの作成も行い、それに
基づいて意見を出し合い、
取り組んできました。

職員だけでなく、初の試
みとして、ボランティアの
方々、香川短
期大学の先生、
学生さんにも
参加していた
だきました。
実際に行った
内容は、ロビ
ーの椅子のレ
イアウト変更、
案内板の撤去、
掲示物の見直
し等ですが、
今回は実現に
至らなかった
貴重な意見を
たくさんいた

いただきました。ワーキングは
11月で一区切りとなり、一
旦、終了となりますが、今
後も職員1人1人におもて
なしの心がすこしでも根付
いて、より良い病院になっ
ていければと思います。
今回、「患者さんが当院
に求めていること」と「当
院が提供するサービス」を
踏まえて3つのテーマでキ
ャッチコピーを作成しまし
たので掲載させていただき
ます。

職員だけでなく、地域の
方々から意見を取り入れる
ことで、皆さまに親しみや
すく、快適で、安心な医療
を提供できる環境を整備す
ることを目標にホスピタリ
ティ強化プロジェクトとし
て平成30年6月よりワーキ
ンググループを立ち上げ活
動してきました。

当初の主な取り組みはロ
ビー回りのイメージアップ、
屋上庭園のリニューアルで
ありましたが、キャッチコ

香川労災病院 キャッチコピー

- 救急医療・急性期医療
一期一会からはじまる医療
つなげて日常へ送り届けます
- 勤労者医療
“治そう”も“働こう”もあきらめんといて
あなたを支える頼れる医療のベテラン
- 地域医療
あなたの「ちょっとかまん？」に寄りそいます
一緒に考えたいこれからの暮らし
みんなの人生の片隅に 香川労災病院

連載 9

トランプ王国の選挙

NHKアメリカ総局長
ニユースウオッチ9前キャスター

河野憲治

ニユークに住んでおよそ1年半になります。ニユークはトランプ大統領の出身地ですが、よく言う人はあまりいません。いろんな人種が暮らすこの街は、政治的にリベラルな民主党支持者が多く、移民の制限など排他的な発言が目立つトランプ大統領は嫌われているからです。

名を上げましたが、ここでは石炭への規制を厳しくした張本人としてバッシングの的となっています。

そこにトランプ氏が登場し、地球は温暖化していないと主張して石炭産業の復活を公約したのです。その結果、大統領選挙ではこの州で圧勝しました。

11月に行われたアメリカ中間選挙の前に、そのウエストバージニア州に行ってみました。まず驚いたのがインフラの遅れです。空港からしばらくレンタカーを走らせると、携帯電話がつか

州がウエストバージニア州です。人口180万人ほどの小規模な州です。かつては炭鉱で栄えましたが、その衰退とともに経済が傾き、いまでは全米で最も貧しい州のひとつです。とくにこの数年は、二酸化炭素を排出する石炭への風当たりが強まり、石炭産業の先行きはいつそう厳しくなっています。前のオバマ大統領は、地球温暖化対策で世界的に



閉鎖された炭鉱

ながらないのです。インターネットが通じていないところもあるようでした。先進国のアメリカでこんなところがあるとは…と正直驚きました。まさに見捨てられた地域なのです。

そこでトランプ支持者と会いました。ゲリーさんと

11月に行われたアメリカ中間選挙の前に、そのウエストバージニア州に行ってみました。まず驚いたのがインフラの遅れです。空港からしばらくレンタカーを走らせると、携帯電話がつか

州がウエストバージニア州です。人口180万人ほどの小規模な州です。かつては炭鉱で栄えましたが、その衰退とともに経済が傾き、いまでは全米で最も貧しい州のひとつです。とくにこの数年は、二酸化炭素を排出する石炭への風当たりが強まり、石炭産業の先行きはいつそう厳しくなっています。前のオバマ大統領は、地球温暖化対策で世界的に



トランプ支持の炭鉱労働者ゲリーさん

したのがオジェーダさんという候補でした。元軍人で、イラクやアフガニスタンで戦死した仲間の名前を背中に彫り込んでいる熱血漢です。軍の仕事で世界を見てきた経験から、「石炭だけに頼っているのは未来がない。思い切って産業の多角化を目指すべきだ」と訴えていました。この州ではタブーに切り込んだ大胆な主張なので、炭鉱労働者からなら

11月に行われたアメリカ中間選挙の前に、そのウエストバージニア州に行ってみました。まず驚いたのがインフラの遅れです。空港からしばらくレンタカーを走らせると、携帯電話がつか

州がウエストバージニア州です。人口180万人ほどの小規模な州です。かつては炭鉱で栄えましたが、その衰退とともに経済が傾き、いまでは全米で最も貧しい州のひとつです。とくにこの数年は、二酸化炭素を排出する石炭への風当たりが強まり、石炭産業の先行きはいつそう厳しくなっています。前のオバマ大統領は、地球温暖化対策で世界的に



オジェーダ支持のエリカさん

このオジェーダ候補を支持していたのが、若い世代の人たちでした。そのひとり、女性教師のエリカさんが忘られませんが。

州がウエストバージニア州です。人口180万人ほどの小規模な州です。かつては炭鉱で栄えましたが、その衰退とともに経済が傾き、いまでは全米で最も貧しい州のひとつです。とくにこの数年は、二酸化炭素を排出する石炭への風当たりが強まり、石炭産業の先行きはいつそう厳しくなっています。前のオバマ大統領は、地球温暖化対策で世界的に



河野憲治氏プロフィール
河野憲治さんは三豊市出身で京都大学卒業後、NHKに



この廃墟を見ながらエリカさんがつぶやきました。

も反トランプのオジェーダ氏も善戦し、あと一歩まで迫りました。
アメリカでは来年の大統領選挙でトランプ再選の可能性を指摘する人は少なくありません。保守的な白人や高齢層の間で根強い支持があるからです。とはいえ、



反トランプの元軍人オジェーダさん

ウエストバージニアでも見られたように、「トランプ王国」であっても、支持層の一部が崩れ始めているのは事実です。その支持の揺らぎが今後も広がっていくのかどうか、次の大統領選挙にむけたひとつの鍵となりそうです。

(この取材は11月18日に、NHKBS「激動の世界をゆく」アメリカ政治の新たな風」で放送されました)

入局。初代テヘラン支局長やワシントン支局長を歴任し、オバマ大統領とホワイトハウスで単独会見を行ったことでも有名です。前ニュースウオッチ9のキャスターで、現在はニューヨークでNHKアメリカ総局長として活躍されています。

文：第二外科部長

國土 泰寿

第2回市民公開セミナー

- 日 時 平成31年1月19日(土) 午後2時～3時半(開場 午後1時45分)
- 会 場 丸亀市生涯学習センター 3階ホール 丸亀市大手町二丁目1番20号
- 講 演 「生活習慣病との上手なつきあい方」 講師 第5内科部長 次田 誠
- 特別講演 「健康寿命を延ばして笑って現役を笑いはたつぷり、健康はしっかり」 講師 落語家 桂 文喬氏
- 参 加 無料(定員500名 ※事前申し込み不要)

※当日、午後1時から午後4時半まで香川労災病院駐車場が臨時駐車場として無料でご利用いただけます。

がんサロン

- 日 時 平成31年2月20日(水) 午前11時～12時
 - 会 場 香川労災病院 2階情報コーナー
 - テーマ 「みんなのサロン」がんの悩みや不安、一人で考えず話してみませんか?」
 - 講 師 緩和ケア認定看護師 葛 和子
がん看護専門看護師 岩田尚子
医療ソーシャルワーカー 伊原志乃
 - 参 加 無料
- ※どなたでもご参加いただけます。ご不明な点は、総合案内までお問い合わせください。

肝臓病教室

- 日 時 平成31年3月15日(金) 午後2時～3時半
- 会 場 香川労災病院 管理棟3階会議室
- 内 容 「肝硬変とは?」
- 講 師 ※健康相談お受けします 出口部長、内山中央リハビリテーション部長、管理栄養士
- 参 加 無料

第76回市民公開健康講座

- 日 時 平成31年3月14日(木) 午後1時半～3時
- 会 場 香川労災病院 管理棟3階会議室
- 内 容 「家で介護するということ」
- 講 師 香川県中讃保健福祉事務所 務所 所長 小河恵朗氏
- 参 加 無料

お知らせ
※どなたでも参加できます。多数ご参加下さい。(お入会参加費は無料です。)
予定内容等が変更となる場合があります。当院ホームページを事前にご確認ください。

無料肝炎検査について

外来看護師長補佐 大林美代子

「一生に一度は肝炎検査を受けましょう！」皆さんは聞いたことはありませんか？一生に一度は肝炎ウイルス検査をということで、無料検査の制度がありますが、なかなか医療機関を受診できない方がいるのが現状です。そこで、当院の「肝臓病教室チーム」は、平成30年9月29日に開催した当院でのオープンホスピタルの場を活用して、参加される地域住民の方に、肝炎検査を受けて頂きたいと思いい、「無料肝炎検査」を行いました。当日は54名の



方が検査を希望され、医師による問診と採血検査を受けられました。陽性と判明された方もあり、受診に繋げることができました。肝炎ウイルスは肝臓がんの主な原因で、自覚症状が



四季の植物

ミヤギノハギ(宮城野萩) マメ科・ハギ属

東4病棟看護師・高橋希巴江
丸亀城内堀沿いで見ることができ、高さ1~2mの落葉低木、紫紅色の花を8~10月頃咲かせる、秋の七草の一つ。宮城県に多く自生することから和名が付き、県花でもあります。花言葉は【思案・柔軟な精神】です。

ないことが多く、本人が気づかないうちに病気が進行します。そのため検査を受けて早い時期に感染を発見し、適切な治療を行うことが大切です。当院は指定医療機関になっておりますので、ご家族にB型肝炎ウイルス、C型肝炎ウイルスに感染している方、健康診断の血液検査で肝機能検査の異常を指摘された方、輸血や大きな手術を受けた方、入墨を入れたり、医療機関以外でピアスの穴をあけたことがある方はぜひ検査を受けることをおすすめします。また、当院では3か月に一度肝臓病教室を開催しております。肝臓病やお薬、食事に関するテーマで開催していますが、講演終了後には肝臓専門医による無料健康相談も行っております。健診の検査データが気になつていらっしゃる方、受診はなかなかできないがちよつと相談してみたいと思つている方等ぜひ教室に参加してみませんか。次回の肝臓病教室は、

新任医師紹介



脳神経外科 川井 伸彦

3月14日(木)午後14時~15時30分「肝硬変とは？」について管理棟3階会議室にて開催予定です。どなたでも参加できます。皆様のご参加をお待ちしております。

この度、香川大学脳神経外科より後期研修医として派遣されました。医師としての経験はまだ浅く、未熟な面も多いですが全力で患者様の診療をさせていただきます。よろしくお願い致します。
●出身：香川県高松市
●趣味：バドミントンを学生の頃からしています。丸亀でも是非やりたいと思っています。忙しいから無理と先輩医師には言われていますが(笑)
●休日の過ごし方：最近はドライブにでることが多いです。香川県出身ですが、丸

亀は初めてやってまいりました。全国で一番小さい県とまで行つたことのないところも多く合間を見つけて散策したいと思っています。
●目標：患者様に愛される医師になりたいと思います。
編集だより
患者サービスマン委員会
田中看護副部長
明けましておめでとうございます。
今年、いよいよ平成から新しい年号へ変わりますね。新しい年号はどうなるのか楽しみです。昨年、香川労災病院では、今まで以上に地域に密着した病院を目指して地域連携・患者サポートセンター「つながるステーション」を立ち上げました。今年、つながって、輪になってその輪がさらに広がっていくことを楽しみに変化できることを願っています。本年もよろしくお願いたします。